

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 信託期間 | 無期限とします。(設定日: 2024年3月18日) |
| 運用方針 | 主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | インド小型厳選株式ファンド アムンディ・インド小型株マザーファンド受益証券 |
| | アムンディ・インド小型株マザーファンド インドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式 |
| 組入制限 | インド小型厳選株式ファンド 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。投資信託証券(マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |
| | アムンディ・インド小型株マザーファンド 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |
| 分配方針 | 毎決算時(年1回、原則毎年12月15日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として次の方針により分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 |

インド小型厳選株式ファンド

運用報告書(全体版)

第1期(決算日 2024年12月16日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン: 050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

< 4172863 · 4193698 >

■設定以来の運用実績

| 決算期 (分配落) | 基準価額 | | 参考指數 | 期中騰落率 | 株式組入比率 | 投資信託証券組入比率 | 純資産額 |
|---------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|------------|---------------|
| | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | | | | |
| (設定日) 2024年3月18日 | 円 10,000 | 円 — | % — | 10,000 | % — | % — | 百万円 21,571 |
| 1期(2024年12月16日) | 11,901 | 0 | 19.0 | 13,143 | 31.4 | 96.4 | — 95,210 |

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)とし、参考指数については設定日を10,000として指数化しています。純資産額は設定元本を表示しています。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質組入比率を記載しています。以下同じ。

(参考指数について)

参考指数は、BSE 250 SmallCap インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

BSE 250 SmallCap インデックスは、BSE Limited(以下「BSE」)の完全子会社であるAsia Index Private Limited(以下「AIPL」)の製品であり、アムンディが使用を許諾されています。BSE®はBSEの登録商標であり、これらの商標はAIPLにより使用許諾され、アムンディにより一定の目的のためにサブライセンスされています。無断複写・転載を禁じます。AIPLの書面による許可なく、その全部または一部を再配布、複製および/または複写することを禁じます。AIPLのインデックスの詳細については、www.asiaindex.co.inをご参照ください。AIPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、明示的または黙示的を問わず、いかなる指數についても、それが表示しようとする資産クラスまたは市場セクターを正確に表す能力について、何ら表明または保証を行うものではなく、また、AIPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、いかなる指數またはそこに含まれるデータに関する過誤、遗漏、中断に対しても一切責任を負いません。以下同じ。

■当期中の基準価額と市況等の推移

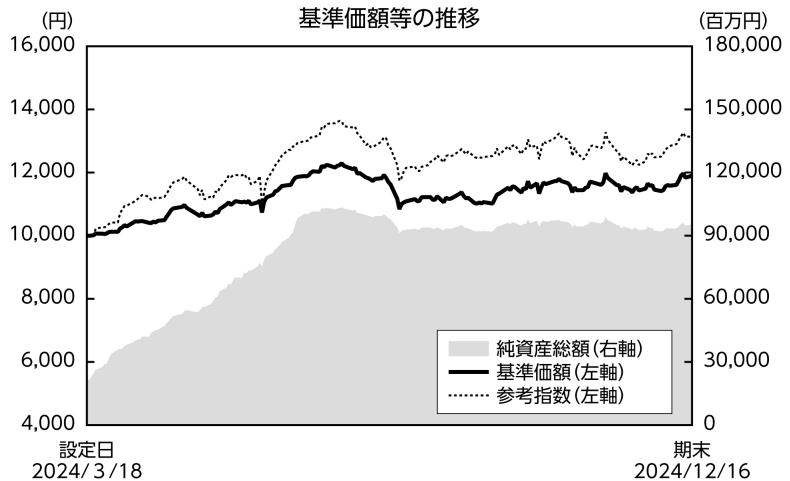
| 年月日 | 基準価額 | | 参考指數 | 騰落率 | 株式組入比率 | 投資信託証券組入比率 |
|---------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|------------|
| | | 騰落率 | | | | |
| (設定日) 2024年3月18日 | 円 10,000 | % — | 10,000 | % — | % — | % — |
| 3月末 | 10,123 | 1.2 | 10,413 | 4.1 | — | 54.2 |
| 4月末 | 10,914 | 9.1 | 11,797 | 18.0 | 36.9 | 43.0 |
| 5月末 | 10,993 | 9.9 | 11,626 | 16.3 | 64.5 | — |
| 6月末 | 12,037 | 20.4 | 13,118 | 31.2 | 80.1 | — |
| 7月末 | 11,833 | 18.3 | 13,081 | 30.8 | 92.1 | — |
| 8月末 | 11,203 | 12.0 | 12,537 | 25.4 | 91.4 | — |
| 9月末 | 11,366 | 13.7 | 12,580 | 25.8 | 93.4 | — |
| 10月末 | 11,715 | 17.2 | 12,820 | 28.2 | 92.7 | — |
| 11月末 | 11,459 | 14.6 | 12,484 | 24.8 | 95.7 | — |
| (期末) 2024年12月16日 | 11,901 | 19.0 | 13,143 | 31.4 | 96.4 | — |

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 謄落率は設定日比です。

【基準価額等の推移】

| | |
|----------------|---------|
| 設定日 | 10,000円 |
| 第1期末 | 11,901円 |
| 既払分配金 (税込み) | 0円 |
| 騰落率 | 19.0% |



(注1) 参考指標は、BSE 250 SmallCap インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

(注2) 参考指標は、設定日（2024年3月18日）を10,000として指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、当期初（設定日）に比べ上昇しました。

上昇要因

2024年6月の総選挙でのモディ首相率いる与党連合の再選、および11月のマハラシュトラ州議会選挙でのBJP（インド人民党）等の与党連合の勝利により、政局安定化への期待が高まって、市場センチメントが押し上げられました。

下落要因

2024年6月、8月、10月は、中東地域の緊迫化、原油価格の高騰、世界経済の減速が市場に悪影響を及ぼしました。

【投資環境】

＜インド株式市場＞

当期中に、BSE Sensex指数は現地通貨ベースで上昇しました。セクター別では、資本財・サービス、一般消費財・サービスおよびコミュニケーション・サービスが好調だった一方、生活必需品、公益事業およびエネルギーは振るいませんでした。

また、同期間中、海外および国内機関投資家のフローはプラスとなりました。

ニフティ-50指数構成銘柄の今年度第2四半期（2024年7-9月期）決算は緩やかな伸びを示しました。EPS（一株当たり利益）の伸び率はここ数年は高水準で推移していましたが、足元では名目GDP（国内総生産）成長率に沿った水準となり、さらなる拡大には売上高の回復が必要とみられます。

インドの第2四半期GDP成長率は前年同期比で減速し、インド準備銀行（中央銀行）や市場などの予想を下回りました。減速の要因は選挙関連の支出の鈍化、悪天候による建設活動の停滞などでした。しかし、10月-11月の経済指標は、地方の消費や財政目標の達成を目的とした政府支出の増加に支えられ、緩やかな回復を示唆しました。

足元ではBSE Sensex指数は過去の平均と比較して、高いP/E R（株価収益率）で取引されています。主要指数のバリュエーションは緩やかに低下しており、同様に株式センチメント評価も緩やかに低下し、過度の楽観を示す水準から離れつつあります。しかし、いずれの指標も行き過ぎた状態が完全に正常化していることを示す水準にはまだ達していません。

＜為替市場＞

当期のインドルピー／円相場は、値動きをともないつつも期初と同水準で期末を迎えました。期初は1.8円近くで始まり、上昇基調となりました。7月初旬には1.9円台を超ましたが、その後日本の当局による為替介入が入ったとみられ急激な円高が進行していたところに、日銀による追加利上げの決定、植田総裁による想定外のタカ派的発言、さらには予想以上の米国経済指標の鈍化、米国での利下げ観測の高まりなどが要因となり、円高がさらに進行し、インドルピー／円相場は1.6円台まで下落しました。9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において0.50%と大幅な利下げが決定した後は円安へ転じ、11月中旬にかけてインドルピーは上昇しました。その後一時下落したものの、当期末にかけては上昇基調となり1.8円台前半で当期を終えました。

【ポートフォリオ】

＜当ファンド＞

アムンディ・インド小型株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。なお、ファンド設定当初は、市場の流動性や、マザーファンドにおけるインド株式投資にかかる口座の開設状況を鑑み、米国籍ETF（上場投資信託証券）「iShares MSCI India Small-Cap ETF」を通じてインドの小型株式に投資しました。ETF売却後は、アムンディ・インド小型株マザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を維持しました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜アムンディ・インド小型株マザーファンド＞

アムンディ・インド小型株マザーファンド運用報告書（後述）をご覧ください。

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきました（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

＜当ファンド＞

引き続き、アムンディ・インド小型株マザーファンドへの投資を通して、主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜アムンディ・インド小型株マザーファンド＞

アムンディ・インド小型株マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 第1期 (2024年3月18日 ～2024年12月16日) | | 項 目 の 概 要 |
|---|-------------------------------------|-----------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) | 157円 (89) | 1.387% (0.784) | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (65) | (0.578) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (3) | (0.025) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 15 (15) | 0.134 (0.134) | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券) | 15 (15) (0) | 0.135 (0.134) (0.001) | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 504 (6) | 4.461 (0.051) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷 費 用) | (0) | (0.003) | ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 |
| (そ の 他) | (497) | (4.404) | 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合 計 | 691 | 6.117 | |

期中の平均基準価額は11,293円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

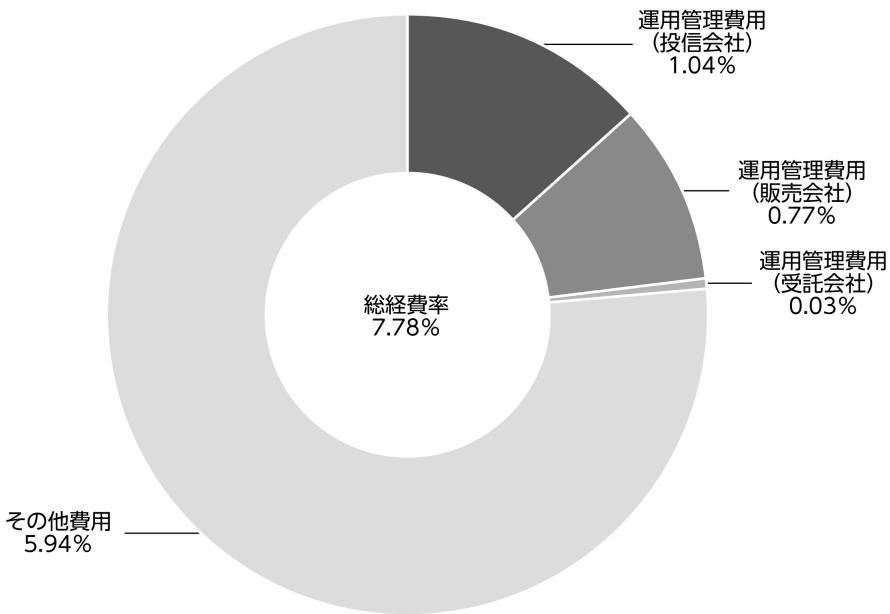
(注5) (d)その他費用の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタルゲイン課税（キャピタルゲイン課税の引当金も含む）を含みます。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は7.78%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) その他費用には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタルゲイン課税（キャピタルゲイン課税の引当金も含む）を含みます。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年3月18日から2024年12月16日まで）

(1) 投資信託受益証券、投資証券

| | | 買付 | | 売付 | |
|----|--|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| | | 口数 | 買付額 | 口数 | 売付額 |
| 外国 | (アメリカ) ISHARES MSCI INDIA SMALL-CAP | 口 2,274,600 | 千米ドル 159,416 | 口 2,274,600 | 千米ドル 169,766 |

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| | 設定 | | 解約 | |
|---------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| アムンディ・インド小型株マザーファンド | 千口 85,617,645 | 千円 88,195,000 | 千口 2,434,174 | 千円 2,700,000 |

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 | |
|---------------------|---------------------|----|
| | アムンディ・インド小型株マザーファンド | |
| (a) 期中の株式売買金額 | 121,276,808 | 千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 73,931,747 | 千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 1.64 | |

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2024年3月18日から2024年12月16日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年12月16日現在）

親投資信託残高

| 銘柄 | 当期末 | |
|---------------------|------------------|------------------|
| | 口数 | 評価額 |
| アムンディ・インド小型株マザーファンド | 千口 83,183,471 | 千円 95,053,752 |

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・インド小型株マザーファンド全体の受益権口数は、当期末83,183,471千口です。

■投資信託財産の構成 (2024年12月16日現在)

| 項 目 | 当期末 | |
|---------------------|------------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| アムンディ・インド小型株マザーファンド | 95,053,752 | 98.8 |
| コール・ローン等、その他 | 1,163,504 | 1.2 |
| 投資信託財産総額 | 96,217,256 | 100.0 |

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・インド小型株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(94,373,258千円)の投資信託財産総額(99,277,120千円)に対する比率は95.1%です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(20千円)の投資信託財産総額(96,217,256千円)に対する比率は0.0%です。

(注4) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2024年12月16日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=153.92円、1インドルピー=1.82円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年12月16日現在)

| 項 目 | 当期末 |
|--------------------------|-----------------|
| (A) 資産 | 96,217,256,741円 |
| コール・ローン等 | 563,502,480 |
| アムンディ・インド小型株マザーファンド(評価額) | 95,053,752,563 |
| 未収入金 | 600,000,000 |
| 未収利息 | 1,698 |
| (B) 負債 | 1,007,164,416 |
| 未払解約金 | 569,782,977 |
| 未払信託報酬 | 432,939,494 |
| その他未払費用 | 4,441,945 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 95,210,092,325 |
| 元本 | 79,998,811,997 |
| 次期繰越損益金 | 15,211,280,328 |
| (D) 受益権総口数 | 79,998,811,997口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,901円 |

(注記事項)

| | |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額 | 21,571,887,733円 |
| 期中追加設定元本額 | 65,126,955,511円 |
| 期中一部解約元本額 | 6,700,031,247円 |

■損益の状況

当期 (自2024年3月18日 至2024年12月16日)

| 項 目 | 当期 |
|------------------|------------------|
| (A) 配当等収益 | 18,976,556円 |
| 受取利息 | 18,976,556 |
| (B) 有価証券売買損益 | 11,512,340,478 |
| 売買益 | 11,972,241,435 |
| 売買損 | △ 459,900,957 |
| (C) 信託報酬等 | △ 1,098,563,472 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 10,432,753,562 |
| (E) 追加信託差損益金 | 4,778,526,766 |
| (配当等相当額) | (6,568,328) |
| (売買損益相当額) | (4,771,958,438) |
| (F) 計 (D+E) | 15,211,280,328 |
| (G) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(F+G) | 15,211,280,328 |
| 追加信託差損益金 | 4,778,526,766 |
| (配当等相当額) | (25,277,753) |
| (売買損益相当額) | (4,753,249,013) |
| 分配準備積立金 | 10,432,753,562 |

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E) 追加信託差損益金あるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
- また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第1期 | |
|--------------------|--------------------------|------|
| | (2024年3月18日～2024年12月16日) | |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | — | (-%) |
| 当期の収益 | — | — |
| 当期の収益以外 | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,901 | |

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

アムンディ・インド小型株マザーファンド

運用報告書

《第1期》

決算日：2024年12月16日

(計算期間：2023年12月20日～2024年12月16日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | インドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式 |
| 組入制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |

■設定以来の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | 参考指 | | 株式組入比 | 純 資 産 総 額 |
|------------------------|-------------|---------|---------|--------|-----------|
| | | 期 謄 落 率 | 期 謄 落 率 | | |
| (設 定 日) 2023年12月20日 | 円 10,000 | % — | 10,000 | % — | % 0.97 |
| 1期 (2024年12月16日) | 11,427 | 14.3 | 13,678 | 36.8 | 96.5 |
| | | | | | 95,049 |

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)とし、参考指について設定日を10,000として指数化しています。純資産総額は設定元本を表示しています。

(参考指について)

参考指は、BSE 250 SmallCap インデックス(配当込み、円換算ベース)です。BSE 250 SmallCap インデックスは、BSE Limited(以下「BSE」)の完全子会社であるAsia Index Private Limited(以下「AIPL」)の製品であり、アムンディが使用を許諾されています。BSE®はBSEの登録商標であり、これらの商標はAIPLにより使用許諾され、アムンディにより一定の目的のためにサブライセンスされています。無断複写・転載を禁じます。AIPLの書面による許可なく、その全部または一部を再配布、複製および/または複写することを禁じます。AIPLのインデックスの詳細については、www.asiaindex.co.inをご参照ください。AIPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、明示的または黙示的を問わず、いかなる指についても、それが表示しようとする資産クラスまたは市場セクターを正確に表す能力について、何ら表明または保証を行うものではなく、また、AIPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、いかなる指またはそこに含まれるデータに関する過誤、遗漏、中断に対しても一切責任を負いません。以下同じ。

■当期中の基準価額と市況等の推移

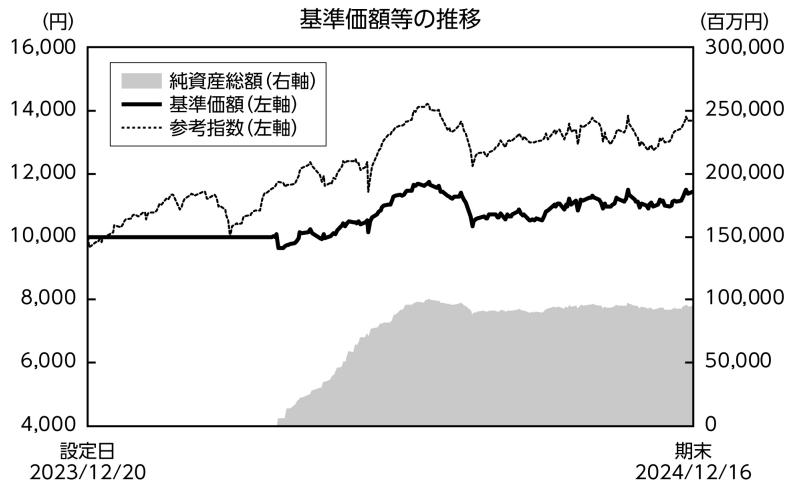
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | 参 考 指 数 | | 株 式 組 入 比 |
|------------------------|-------------|---------|--------|-----------|
| | | 騰 落 率 | 騰 落 率 | |
| (設 定 日) 2023年12月20日 | 円 10,000 | % — | 10,000 | % — |
| 12月末 | 10,000 | 0.0 | 9,951 | △ 0.5 |
| 2024年1月末 | 9,999 | △ 0.0 | 10,902 | 9.0 |
| 2月末 | 9,998 | △ 0.0 | 11,218 | 12.2 |
| 3月末 | 9,998 | △ 0.0 | 10,837 | 8.4 |
| 4月末 | 10,132 | 1.3 | 12,277 | 22.8 |
| 5月末 | 10,383 | 3.8 | 12,099 | 21.0 |
| 6月末 | 11,469 | 14.7 | 13,652 | 36.5 |
| 7月末 | 11,293 | 12.9 | 13,613 | 36.1 |
| 8月末 | 10,690 | 6.9 | 13,047 | 30.5 |
| 9月末 | 10,865 | 8.7 | 13,092 | 30.9 |
| 10月末 | 11,222 | 12.2 | 13,342 | 33.4 |
| 11月末 | 10,992 | 9.9 | 12,992 | 29.9 |
| (期 末) 2024年12月16日 | 11,427 | 14.3 | 13,678 | 36.8 |
| | | | | 96.5 |

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 謄落率は設定日比です。

【基準価額等の推移】

| | |
|------|---------|
| 設定日 | 10,000円 |
| 第1期末 | 11,427円 |
| 騰落率 | 14.3% |



(注1) 参考指数は、BSE 250 SmallCap インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

(注2) 参考指数は、設定日（2023年12月20日）を10,000として指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、当期初（設定日）に比べ上昇しました。

上昇要因

2024年6月の総選挙でのモディ首相率いる与党連合の再選、および11月のマハラシュトラ州議会選挙でのBJP（インド人民党）等の与党連合の勝利により、政局安定化への期待が高まって、市場センチメントが押し上げられました。

下落要因

2024年6月、8月、10月は、中東地域の緊迫化、原油価格の高騰、世界経済の減速が市場に悪影響をおよぼしました。

【投資環境】

＜インド株式市場＞

当期中に、BSE Sensex指数は現地通貨ベースで上昇しました。セクター別では、コミュニケーション・サービス、不動産、一般消費財・サービス等が好調だった一方、生活必需品、エネルギーは振るいませんでした。

また、同期間中、海外および国内機関投資家のフローはプラスとなりました。

インドの2023年度第4四半期の企業業績は市場予想をやや上回る水準となりました。世界の成長率の減速はインド企業の売上高の足かせとなりこれがI T（情報技術）、化学、金属、原油・ガス等に影響しました。一方、一部の国内セクター（自動車、金融、インフラ、一般消費財・サービスなど）は、堅調な売上高となっています。EPS（1株当たり利益）のトレンドは2020年度以降、2割超の年平均成長率で拡大した後、おむね名目成長率と足並みを揃えるとみられ、さらなる拡大のためには売上高の伸びが必要になると考えています。

ニフティー50指数構成銘柄の今年度第2四半期（2024年7—9月期）決算は緩やかな伸びを示しました。EPSの伸び率はここ数年は高水準で推移していましたが、足元では名目GDP（国内総生産）成長率に沿った水準となり、さらなる拡大には売上高の回復が必要とみられます。

インドの第2四半期GDP成長率は前年同期比で減速し、インド準備銀行（中央銀行）や市場などの予想を下回りました。減速の要因は選挙関連の支出の鈍化、悪天候による建設活動の停滞などでした。しかし、10月—11月の経済指標は、地方の消費や財政目標の達成を目的とした政府支出の増加に支えられ、緩やかな回復を示唆しました。

足元ではBSE Sensex指数は過去の平均と比較して、高いP E R（株価収益率）で取引されています。主要指標のバリュエーションは緩やかに低下しており、同様に株式センチメント評価も緩やかに低下し、過度の樂觀を示す水準から離れつつあります。しかし、いずれの指標も行き過ぎた状態が完全に正常化していることを示す水準にはまだ達していません。

＜為替市場＞

当期のインドルピー／円相場は、期を通じて上昇しました。期初は1.7円台前半で始まり、一時下落したものの、2024年3月にかけて上昇基調が継続しました。3月初旬のパウエルFRB（米連邦準備理事会）議長の発言が利下げ時期の後退を想起させるものではなかったことなどから一時弱含みましたが、日銀が引き続き緩和的な政策を維持するとの声明を受け、再び上昇基調に戻りました。7月初旬には1.9円台を超ましたが、その後日本の当局による為替介入が入ったとみられ急激な円高が進行していたところに、日銀による追加利上げの決定、植田総裁による想定外のタカ派的発言、さらには予想以上の米国経済指標の鈍化、米国での利下げ観測の高まりなどが要因となり、円高がさらに進行し、インドルピー／円相場は1.6円台まで下落しました。

9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において0.50%と大幅な利下げが決定した後は円安へ転じ、11月中旬にかけてインドルピーは上昇しました。その後一時下落したものの、当期末にかけては上昇基調となり1.8円台前半で当期を終えました。

【ポートフォリオ】

当期、インド株式への投資は、現地口座の開設完了後2024年4月より開始しました。その後は、主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

当ファンドのインド株式への投資は2024年4月の運用開始後、6月中旬まではポートフォリオの構築段階にありました。当期末現在、当ファンドは一般消費財・サービス、生活必需品および公益事業をオーバーウェイト、情報技術、ヘルスケア、金融および資本財・サービスをアンダーウェイトとしています。セクターのアクティブ・ウェイトは銘柄選択の結果であり、セクターに対する見解を示すものではありません。

一般消費財・サービス、資本財・サービスの銘柄選択と、情報技術のアンダーウェイトによるセクター配分が、パフォーマンスにプラスに寄与しました。一方で、一般消費財・サービスのオーバーウェイト、ヘルスケアと資本財・サービスのアンダーウェイトのセクター配分と、ヘルスケアの銘柄選択がパフォーマンスの重しとなりました。

(SBIファンズ・マネジメント・リミテッド)

【今後の運用方針】

主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

米国大統領選挙でドナルド・トランプ氏が勝利したことから、市場予想が変化し、米国国債利回りの上昇、米ドルの上昇、株式の急騰などにつながりました。一方、トランプ氏の予測不可能性、インドの財に対し関税が課される可能性、米国の金利上昇が新興国における影響などがリスクとして考えられます。

過去数年間にわたって堅調に伸びていたE P S成長率は2024年7—9月期に鈍化し、さらなる上昇を後押しするには売上高の回復が必要と考えます。インドの成長期待と、多くのセクターで価格決定力が回復していることから、当ファンドは中期的な収益見通しについて前向きです。長期的な見通しは、収益の拡大サイクルによって支えられており、12年にわたって低下していたG D Pに占める企業収益の割合は上昇に転じています。製造業の復活、一人当たりG D Pの増加、世界的な景気回復などが、中長期的な収益成長への前向きな見方を維持する要因となっています。足元で混乱が続くなか、市場では強固なビジネスモデル、目にみえる収益成長、持続的なキャッシュフローを有する企業が選好され、ファンダメンタルズ（基礎的条件）の重要性が強調されています。

上述のように、インドの長期的な投資テーマは引き続き魅力的であると考えており、その背景には都市化、デジタル化、サプライチェーンの再構築、E S G（環境・社会・ガバナンス）などの要因があります。当ファンドの戦略は引き続き投資プロセスに重点を置き、事業基盤、経営の質、バリュエーションという3つの基準に基づき企業を特定するボトムアップ・アプローチに注力します。当ファンドはこのプロセスが新たな投資機会の特定に寄与するのみならず、潜在的なリスクの回避にも役立つと考えます。

(SBIファンズ・マネジメント・リミテッド)

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 第1期 (2023年12月20日 ～2024年12月16日) | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------------|--------------------------------------|-------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売買委託手数料 (株 式) | 22円 (22) | 0.204% (0.204) | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有価証券取引税 (株 式) | 22 (22) | 0.205 (0.205) | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 720 (8) | 6.804 (0.078) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 |
| (そ の 他) | (712) | (6.726) | 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合 計 | 764 | 7.213 | |

期中の平均基準価額は10,586円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注3) (c)その他費用の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタルゲイン課税（キャピタルゲイン課税の引当金も含む）を含みます。

■売買及び取引の状況（2023年12月20日から2024年12月16日まで）

株 式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|-------|-----------------------------|--|----------------------------|--|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外 国 | イ ン ド | 百株 947,260 (29,000) | 千インドルピー 53,617,634 (1,012,729) | 百株 116,038 (5,000) | 千インドルピー 11,539,628 (1,012,729) |

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 単位未満は切捨てです。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------------|---------------|
| (a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額 | 121,276,808千円 |
| (b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額 | 73,931,747千円 |
| (c) 売 買 高 比 率 (a) / (b) | 1.64 |

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■主要な売買銘柄 (2023年12月20日から2024年12月16日まで)

株式

| 買付 | | | | 売付 | | | |
|----------------------------------|-------|-----------|--------|-------------------------------------|-------|-----------|--------|
| 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 | 銘柄 | 株数 | 金額 | 平均単価 |
| CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD(インド) | 1,300 | 3,863,542 | 2,971 | CROMPTON GREAVES CONSUMER EL(インド) | 3,997 | 3,047,994 | 762 |
| SANSERA ENGINEERING LTD(インド) | 1,421 | 3,486,433 | 2,452 | BHARTI AIRTEL LTD(インド) | 900 | 2,635,163 | 2,927 |
| HATSUN AGRO PRODUCT LTD(インド) | 1,500 | 3,189,530 | 2,126 | VOLTAS LTD(インド) | 700 | 2,316,730 | 3,309 |
| KPR MILL LTD(インド) | 1,900 | 3,014,539 | 1,586 | KOTAK MAHINDRA BANK LTD(インド) | 700 | 2,238,276 | 3,197 |
| APUTS VALUE HOUSING FINANCE(インド) | 5,000 | 2,931,331 | 586 | CENTRAL DEPOSITORY SERVICES(インド) | 800 | 2,027,433 | 2,534 |
| SHREE CEMENT LTD(インド) | 52 | 2,648,657 | 50,198 | RELIANCE INDUSTRIES LTD(インド) | 300 | 1,495,518 | 4,985 |
| GOKALDAS EXPORTS LTD(インド) | 1,730 | 2,534,217 | 1,464 | SHREE CEMENT LTD(インド) | 25 | 1,275,147 | 49,493 |
| THANGA MAYIL JEWELLERY LTD(インド) | 681 | 2,440,709 | 3,581 | GO DIGIT GENERAL INSURANCE LTD(インド) | 1,821 | 1,175,637 | 645 |
| BHARTI AIRTEL LTD(インド) | 900 | 2,386,124 | 2,651 | COFORGE LIMITED(インド) | 98 | 1,068,869 | 10,822 |
| JUPITER LIFE LINE HOSPITALS(インド) | 1,000 | 2,355,692 | 2,355 | INDEGENE LTD(インド) | 793 | 999,492 | 1,259 |

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等 (2023年12月20日から2024年12月16日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2024年12月16日現在)

外国株式

| 銘柄 | 当期末 | | | 業種等 | |
|------------------------------|--------|-----------|-----------|--------------------|--|
| | 株数 | 評価額 | | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (インド・・・ポンペイ市場) | | | | | |
| HAWKINS COOKERS LTD | 1,394 | 1,220,911 | 2,222,059 | 耐久消費財・アパレル | |
| (インド・・・インド国立証券市場) | | | | | |
| ARVIND LTD | 21,000 | 880,425 | 1,602,373 | 耐久消費財・アパレル | |
| SHREE CEMENT LTD | 270 | 744,969 | 1,355,843 | 素材 | |
| GARWARE TECHNICAL FIBRES LTD | 777 | 355,888 | 647,716 | 耐久消費財・アパレル | |
| WHIRLPOOL OF INDIA LTD | 5,256 | 1,005,616 | 1,830,221 | 耐久消費財・アパレル | |
| CITY UNION BANK LTD | 70,000 | 1,283,170 | 2,335,369 | 銀行 | |
| GANESHA ECOSPHERE LTD | 2,900 | 634,563 | 1,154,905 | 耐久消費財・アパレル | |
| HONEYWELL AUTOMATION INDIA | 94 | 382,603 | 696,337 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | |
| KALPATARU PROJECTS INTERNATI | 6,942 | 905,252 | 1,647,558 | 資本財 | |
| BALRAMPUR CHINI MILLS LTD | 27,000 | 1,580,580 | 2,876,655 | 食品・飲料・タバコ | |
| EID PARRY INDIA LTD | 14,000 | 1,318,520 | 2,399,706 | 素材 | |
| GUJARAT STATE PETRONET LTD | 25,000 | 945,500 | 1,720,810 | 公益事業 | |
| TORRENT POWER LTD | 7,318 | 1,221,635 | 2,223,377 | 公益事業 | |
| GOKALDAS EXPORTS LTD | 17,300 | 2,076,692 | 3,779,579 | 耐久消費財・アパレル | |

| 銘柄 | 株数 | 当期末 | | 業種等 |
|--------------------------------|---------|-----------|------------|------------------------|
| | | 評価額 | 外貨建金額 | |
| | | 邦貨換算金額 | | |
| PAGE INDUSTRIES LTD | 百株 | 千インドルピー | 千円 | |
| ZF COMMERCIAL VEHICLE CONTROL | 210 | 1,023,587 | 1,862,928 | 耐久消費財・アパレル |
| HATSUN AGRO PRODUCT LTD | 800 | 918,852 | 1,672,310 | 自動車・自動車部品 |
| THANGA MAYIL JEWELLERY LTD | 15,000 | 1,653,450 | 3,009,279 | 食品・飲料・タバコ |
| CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD | 6,815 | 1,423,819 | 2,591,350 | 一般消費財・サービス流通・小売り |
| WESTLIFE FOODWORLD LTD | 13,000 | 1,748,305 | 3,181,915 | 素材 |
| V-GUARD INDUSTRIES LTD | 14,000 | 1,139,250 | 2,073,435 | 消費者サービス |
| AAVAS FINANCIERS LTD | 21,000 | 915,705 | 1,666,583 | 資本財 |
| CCL PRODUCTS INDIA LTD | 3,000 | 499,155 | 908,462 | 金融サービス |
| KNR CONSTRUCTIONS LTD | 18,900 | 1,455,772 | 2,649,505 | 食品・飲料・タバコ |
| NAVIN FLUORINE INTERNATIONAL | 16,846 | 571,930 | 1,040,912 | 資本財 |
| RELAXO FOOTWEARS LTD | 2,700 | 960,552 | 1,748,204 | 素材 |
| NEOGEN CHEMICALS LTD | 1,752 | 113,246 | 206,109 | 耐久消費財・アパレル |
| APUTS VALUE HOUSING FINANCE | 6,960 | 1,519,768 | 2,765,978 | 素材 |
| WONDERLA HOLIDAYS LTD | 50,000 | 1,540,500 | 2,803,710 | 金融サービス |
| CHEMPLAST SANMAR LTD | 13,924 | 1,160,987 | 2,112,996 | 消費者サービス |
| KPR MILL LTD | 21,000 | 1,065,225 | 1,938,709 | 素材 |
| TTK PRESTIGE LTD | 19,000 | 2,052,665 | 3,735,850 | 耐久消費財・アパレル |
| GO FASHION INDIA LTD | 12,044 | 1,048,935 | 1,909,062 | 耐久消費財・アパレル |
| FINOLEX INDUSTRIES LTD | 9,000 | 982,710 | 1,788,532 | 一般消費財・サービス流通・小売り |
| CAMPUS ACTIVEWEAR LTD | 24,788 | 655,914 | 1,193,764 | 素材 |
| AETHER INDUSTRIES LTD | 19,000 | 554,325 | 1,008,871 | 耐久消費財・アパレル |
| SONA BLW PRECISION FORGINGS | 7,000 | 622,685 | 1,133,286 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| JUBILANT FOODWORKS LTD | 11,395 | 719,937 | 1,310,286 | 自動車・自動車部品 |
| G R INFRAPROJECTS LTD | 10,010 | 681,981 | 1,241,205 | 消費者サービス |
| VEDANT FASHIONS LTD | 5,100 | 808,273 | 1,471,057 | 資本財 |
| SANSERA ENGINEERING LTD | 3,968 | 538,508 | 980,085 | 耐久消費財・アパレル |
| LE TRAVENUES TECHNOLOGY LTD | 14,217 | 2,225,111 | 4,049,702 | 自動車・自動車部品 |
| GO DIGIT GENERAL INSURANCE LTD | 59,000 | 908,718 | 1,653,866 | 消費者サービス |
| SBFC FINANCE LTD | 166 | 5,415 | 9,856 | 保険 |
| KRISHNA INSTITUTE OF MEDICAL | 130,000 | 1,199,120 | 2,182,398 | 金融サービス |
| INDEGENE LTD | 21,365 | 1,265,387 | 2,303,005 | ヘルスケア機器・サービス |
| JUPITER LIFE LINE HOSPITALS | 911 | 53,733 | 97,795 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| HAPPY FORGINGS LTD | 9,709 | 1,478,941 | 2,691,674 | ヘルスケア機器・サービス |
| STANLEY LIFESTYLES LTD | 9,000 | 942,885 | 1,716,050 | 資本財 |
| VISHAL MEGA MART LTD | 20,278 | 902,088 | 1,641,801 | 耐久消費財・アパレル |
| 合計 | 株数・金額 | 855,222 | 50,413,767 | 一般消費財・サービス流通・小売り |
| | 銘柄数<比率> | 50 | — | <96.5%> |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2024年12月16日現在)

| 項 目 | 当期末 | |
|--------------|------------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| 株式 | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 91,753,056 | 92.4 |
| 投資信託財産総額 | 7,524,064 | 7.6 |
| | 99,277,120 | 100.0 |

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産(94,373,258千円)の投資信託財産総額(99,277,120千円)に対する比率は95.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、なお、2024年12月16日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=153.92円、1インドルピー=1.82円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年12月16日現在)

| 項 目 | 当期末 |
|-----------------|------------------|
| (A) 資産 | 100,968,674,826円 |
| コール・ローン等 | 6,864,638,917 |
| 株式(評価額) | 91,753,056,595 |
| 未収入金 | 2,331,105,220 |
| 未収配当金 | 19,870,250 |
| 未収利息 | 3,844 |
| (B) 負債 | 5,918,842,979 |
| 未払資金 | 2,601,549,531 |
| 未払解約金 | 600,000,000 |
| 外国税引当金 | 2,717,293,448 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 95,049,831,847 |
| 元本 | 83,183,471,220 |
| 次期繰越損益金 | 11,866,360,627 |
| (D) 受益権総口数 | 83,183,471,220口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,427円 |

(注記事項)

| | |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額 | 970,000円 |
| 期中追加設定元本額 | 85,617,645,608円 |
| 期中一部解約元本額 | 2,435,144,388円 |

(当期末元本の内訳)

| | |
|---------------|-----------------|
| インド小型厳選株式ファンド | 83,183,471,220円 |
|---------------|-----------------|

※外国税引当金は将来発生する可能性のあるキャピタルゲイン課税の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。

■損益の状況

当期 (自2023年12月20日 至2024年12月16日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|-----------------|
| (A) 配当等収益 | 483,316,583円 |
| 受取配当金 | 257,865,333 |
| 受取利息 | 225,451,416 |
| 支払利息 | △ 166 |
| (B) 有価証券売買損益 | 12,733,872,227 |
| 売買益 | 17,836,652,250 |
| 売買損 | △ 5,102,780,023 |
| (C) その他費用等 | △ 3,662,381,989 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 9,554,806,821 |
| (E) 追加信託差損益金 | 2,577,354,392 |
| (F) 解約差損益金 | △ 265,800,586 |
| (G) 計 (D+E+F) | 11,866,360,627 |
| 次期繰越損益金(G) | 11,866,360,627 |

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。